

令和 5 年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	令和 6 年 2 月 2 9 日 (木) 於：沖縄防衛局
委員	矢吹 哲哉(委員長：琉球大学名誉教授) 堤 純一郎(琉球大学名誉教授) (五十音順) 仲里 豪 (弁護士) 原田 泰人(公認会計士) 山城 勝 (元沖縄県経営者協会常務理事)

I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和 5 年 1 0 月 1 日 ～ 令和 5 年 1 2 月 3 1 日	
審議対象件数	8 6 件	
1. 入札状況について (入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	3 件	(審議概要)
建設一般競争	3 件	<ul style="list-style-type: none"> 対象期間における契約状況、指名停止状況、低入札価格調査について報告。 業務概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について説明
設一般競争(政府調達協定対象外)	— 件	
工指名競争	— 件	
事随意契約	— 件	
建設コンサルタント業務等	5 件	
	意見・質問	回答
	<p>【建設工事】 一般競争入札方式 ・空自那覇外(5)局舎改修等電気その他工事</p> <p>○ 高い落札率にも拘わらず、低入札価格調査となった状況を確認したい。</p> <p>○ 施工体制確認評価点が低い が、施工に影響はないのか。</p>	<p>○ 本工事を落札した者の積算内訳明細書は公表されている積算基準に基づき積算されており、当局の予定価格と近い金額であったが、主要な資材価格が当局の積算よりも安価であったことから、調査基準価格を下回ったものであるが、施工体制の確認を行い、低入札価格調査を実施後、適切に履行されると認められたことから、落札候補者と決定したものである。</p> <p>○ 本工事を落札した者は当局発注工事の受注実績も多く、その施工成績も高かった案件も多く</p>

あることから、工事施工の品質確保がなされると考えている。

一般競争入札方式

・瑞慶覧（R5）雨水排水路改修整備土木工事（その2）

○ 申請者が17者と多いが、辞退者が4者、無効が6者となって、有効入札が激減した理由を確認したい。

○ 施工体制確認調査に応じる場合と辞退する場合の違いは何か。

一般競争入札方式

・瑞慶覧（R5）給水施設（4290）整備電気その他工事

○ 一者応札となった原因を確認したい。

○ 年末からの工期でなければ、入札状況が違っていただけないか。

【建設コンサルタント業務】

一般競争入札方式

・那覇港湾施設（R5）土質調査

○ 高額の調査事業にも拘わらず、多数の企業によるJV1者の応札になっている状況を、業務内容を含めて確認し

○ 本工事の入札にかかる辞退については他案件受注により、配置予定技術者の配置ができなくなったことによるものではないかと考えている。また調査基準価格を下回った者が施工体制確認の資料提出を辞退した場合については入札を無効としている。

○ 受注意欲により応じる場合や、施工体制確認後の評価点の減点を予想して他の応札者の評価値を下回ることによって落札候補者とならないだろうと判断し、辞退する場合もあるのではないかと考えている。

○ 本工事の工事着手時期における配置予定技術者の確保や、その時期の手持ち工事、工事概要における電気以外の設備工事に対応する協力会社の確保などの調整が整わず入札参加を見合わせたと考えている。

○ 本工事の着手時期は令和6年9月を予定し、その着手に必要な工事準備期間を考慮し、令和5年の9月に入札手続きを開始しており、その工程を入札公告資料に明示していたが、結果的に参加を希望していた者も配置予定技術者の確保や協力会社との調整が整わなかったのではないかと考えている。

○ 本業務は那覇港湾施設の機能を代替施設へ移設するため、移設予定先海域の水深25m以深までの機械ボーリングや、原位

たい。

一般競争入札方式

・空自那覇外（5）給排水等整備土木調査検討

- 調査検討の意味を確認することと、複数の企業によるJVが対応する業務内容を確認したい。

- 分割発注でもよかったのではないか。

一般競争入札方式

・空自那覇（5）測量等調査

- 多数の応札者が競合し、落札率も低い業務内容と予定価格の妥当性について確認したい。

公募型プロポーザル方式

・那覇港湾施設（R5）基本設計

- 多数の企業が参加するJV1社の応札および落札になっている業務内容を確認する。
また、分割発注の可能性も確認したい。

置試験、磁気探査を実施する内容となっており、多数の企業によるJV1者の応札となったと考える。

- 本業務は自衛隊4基地における既設給水管、既設污水管について現地調査し劣化や機能不備状況を確認して更新等を検討するもので、契約業者に聞き取りしたところ、JVの代表者と構成員で、各基地を分担し業務を進めているとのことである。

- 配管等の老朽更新や強靱化についての検討を同一の考えや、経済性のもとに横並びで進めていく必要と、また技術者不足の点をJVとする事で、担当割りが可能となる事などを考慮したものである。

- 本業務は新設工事に伴う建設予定地の測量調査で基準点測量、現地測量、既設構造物調査を実施するものである。また予定価格は国の積算基準に基づき直接測量費及び諸経費の積算を行っている。応札した各者とも直接測量費は当該積算基準に基づき積算されており、当局の積算と変わらないが、契約受注者については諸経費を削減し応札したとして、低入札価格調査により確認している。

- 本業務は港湾施設の基本設計、施設配置検討を行うもので法令に基づいた建物の仕様や構造形式、仮設計画の検討、それに付随した設備等の必要な能力、容量の算定など、土木、建築、設備各分野における基本設計業務であるため、分割発注ではなく、一つの発注として各分野の情報共有を図り業務工程管理をしつつ進める必要があると考えている。

	<p>公募型プロポーザル方式 ・シュワブ（R5）ジュゴン監視等業務</p> <p>○ 以前から同じ企業が受注している業務内容を確認したい。</p>	<p>○ 本業務を発注するにあたり、予定価格の資とするため見積りを3者からいただいておりますが、業務内容は他者も実施することは可能と考えているが、海上等で長期間を実施する業務のため、技術者の拘束期間や、船の手配などの状況を鑑みて、参加を見合わせている業者がいるものと考えています。</p>
--	---	--

委員会による意見の具申又は勧告の内容	
--------------------	--

2. 談合疑義案件の処理状況について

談合疑義件数		0 件	(審議概要)
工	談合情報	0 件	
事	点検結果疑義	0 件	
業	談合情報	0 件	
務	点検結果疑義	0 件	

<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	意見・質問	回答
	なし	なし

委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし
--------------------	----

3. 入札結果の事後的・分析結果について

審議概要		
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	意見・質問	回答

委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし
--------------------	----

4. 再苦情処理（再説明請求回答）

再苦情申立件数	総件数 0 件	(備考)
---------	---------	------

(再説明請求件数)					
建設 工事	一般競争(政府調達協定対象外)	0 件			
	指名競争	0 件			
	随意契約	0 件			
建設コンサルタント業務等※		0 件			
再苦情申立概要 (再説明請求概要)		申立日	件名	契約方式	内容等
		/			
委員からの意見 ・質問、それ に対する回答等		意見・質問		回答	
		なし		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし			

* 建設コンサルタント業務等の再苦情処理については、公募型プロポーザル契約及び簡易公募型プロポーザル契約方式を除く。

令和5年度 入札監視委員会議事概要（航空自衛隊）

開催日及び場所	令和6年2月29日（木） 於：沖縄防衛局
委員	矢吹 哲哉（委員長：琉球大学名誉教授） 堤 純一郎（琉球大学名誉教授） （五十音順） 仲里 豪（弁護士） 原田 泰人（公認会計士） 山城 勝（元（一社）沖縄経営者協会 元常務理事）

I 航空自衛隊が発注する建設工事等に関する審議

審議対象機関	航空自衛隊	
審議対象期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	
審議対象件数	29件	
1. 入札状況について（入札参加資格の決定、指名及び落札者決定の経緯について）		
抽出件数	3件	(審議概要) ・調達の概要、競争参加資格の設定及び 落札者決定の経緯について
一般競争	2件	
指名競争	0件	
随意契約	1件	
	意見・質問	回答
	<p>【一般競争入札】</p> <p>1 (4) 空調設備改修工事</p> <p>○ 複数の項目にそれぞれの率を掛けて低入札価格調査の基準価格を算出しているとのことですが、今回の契約の場合どの項目が一番調査基準価格への影響が大きかったのか。</p> <p>2 (4) No. 1 フィルタースタンド改修工事</p> <p>○ 専門的な工事だと思われるが、県内に対応可能な業者は複数あるのか。</p>	<p>○ 工事内訳の大部分を占める直接工事費に10分の9.7を乗じていますので、この項目の影響が大きいです。</p> <p>○ 専門的な工事ではあるものの、県内の業者からも下見積もりは得ました。</p> <p>このフィルターの設置は、相当古く、アスベストが含まれている可能性があったため別契約で調査を実施</p>

	<p>【随意契約】</p> <p>3 コンクリート柱撤去工事</p> <p>○ 随意契約の場合、何社以上に声掛けする等の基準やルールはあるのか。</p> <p>○ 今回は競争性の確保という観点から言うと最低限の2社からの見積もり取得だが、随意契約の要求が提出された場合はHP等に掲載するのか、それとも官側からの声掛けだけか。</p> <p>○ 声掛けを実施する様式やマニュアル等は部内にあるのか。</p> <p>○ 過去の実績は重要なのか。</p>	<p>したところ、アスベストが含まれていることが判明しました。この調査結果により仕様書を修正する必要が発生し、作業に時間を要した結果、契約時期が12月末と遅くなりました。短い工期が影響し、見積もりを提出したもう1社は入札参加を辞退し、結果1社応札となりました。</p> <p>○ 基準等はありませんが、最低でも2社以上に声掛けは実施し、契約によっては5社から見積もりを得ている契約もあります。</p> <p>○ 基本的には声掛けですが、随意契約であっても、HPに情報を掲載し、オープンカウンターで契約を締結する場合があります。</p> <p>○ マニュアル等はありません。過去の契約実績や工事の資格等を踏まえ、声掛けを実施しています。</p> <p>○ 参考とする要素の1つです。</p>
--	--	--

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関	航空自衛隊	
審議対象期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	
審議対象件数	2,988件	
1. 入札状況について（入札参加資格の決定、指名及び落札者決定の経緯について）		
抽出件数	5件	（審議概要） ・調達の概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯について
一般競争	3件	
指名競争	0件	
随意契約	2件	
	意見・質問	回答
	（一般競争入札）	
	1 使用済自動車売払い	
	○ 予定価格を作成する際に、落札業者からも下見積もりを得ているのか。	○ 落札業者も含めた複数業者から下見積もりを得ています。予定価格を作成したのが5月26日であり、開札日が5月31日であるので、この5日間で業者間の駆け引きがあったのではないかと推察します。
	○ 車両状況については作動不能となっているが、自衛隊が売払いをする車は全て動かない状態なのか。	○ 売払い対象になっている車両の中には動かない状態の車も含まれていると思われませんが、車検切れ等により公道を走れない車もあると思料します。
	2 直管形LEDランプ17個以下238品目	
	○ 火災の恐れがあるため、蛍光管を交換する際は、安定器も変える必要がある。この場合の電気工事にはどう対応しているのか。	○ 航空自衛隊において、施設隊という部署があり、専門職も存在しているため、対応は可能です。

	<p>3 4月分糧食（那覇）</p> <p>○ 糧食の契約状況を見ると、当該業者との契約実績が多いが、他の業者名も記載されているため競争性は確保されていると思われるが、業者ごとに得意な分野があるのか。</p> <p>（随意契約）</p> <p>4 冷蔵庫5個以下11品目</p> <p>○ 見積判定票において株コジマが辞退と記載されているが、辞退の理由はあるか。</p> <p>○ TVの規格やシャープ等のメーカーの指定はあるのか。例えば「32型のTV」という指定のみであれば、より経済的な価格での契約が可能ではないのか。</p> <p>○ 受け手側から、この同等品は可能かという反応もあるのか。</p> <p>（不落随意契約）</p> <p>5 宿舎借上415人以下4件</p> <p>○ 応札者が何故いなかったのか。</p>	<p>○ はい。当該業者については、一般的に応札できる強みがあります。</p> <p>○ 業者から下見積もりを得て予定価格調書を作成したのが2月で、納期が3月17日の契約案件であったため、納期までの期日等を考慮した上での経営判断だと思料します。</p> <p>○ 同等品を可としていますので経済的な価格の契約になっております。</p> <p>○ はい。</p> <p>○ 大きな島ではないため、入札参加資格を保有している業者がいませんでした。</p>
--	--	---

	<p>○ 予定価格よりも入札金額の方が高かったために入札不調となった案件ではないということで良いか。</p>	<p>○ はい。</p>
--	--	--------------